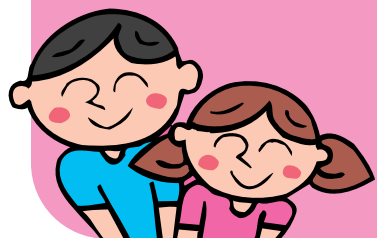


# 茅ヶ崎養護



## ■養護学校ってどんな所？■

県立茅ヶ崎養護学校は、開校して今年で7年目。まだ新しい学校です。児童・生徒数は164人で教員数は117人です。学校は、体の不自由な人が通う部門と知的障害の人が通う部門に分かれていて、それぞれ小学部・中学部・高等部の3学部があります。

バスを送り迎えしています。バスの出入り口にはリフトがついていて、車いすのまま乗れるようになっています。このリフトのすごいところは、バスが停まる場所に合わせて上下するところです。

車内に入ると、出入り口近くの床にくぼみがあります。これは、安全にバスに乗っていられるように、車いすを固定するためのものです。

車いすの生徒が過ごしやすいようにと、校舎内には段差が全くありません。スクールバスから教室まで、段差を一つも越えずに移動することができます。

2階に上がるにはどうしているかというところ、エレベーターがあるから大丈夫です。このエレベーターは、車いすの人が乗り降りしやすいように、低いところに手すりが付いていました。

生徒が使用している車いすは、一人ひとりの体型に合わせて作られました。このように養護学校のスクールバスには、たくさんの工夫がありました。

ほかに、その人の好きなデザインにしたり、タイヤの上に好きなデザインのホイールカバーをつけてあります。例えば、足を組まないようにしてある車いすは、いすの前の真ん中部分が出っ張っています。



# みんなで知ろう！

わたしたちマリンジュニア編集委員は、6月27日に県立茅ヶ崎養護学校に行ってきました。養護学校とはどんな所でどういう学校か？という疑問を持ちながら調べてきました！



■こりやおどろいたハイテクバス■  
養護学校にはスクールバスが4台あり、いろいろな場所に生



1を付けたものもあります。ディズニーが好きな人は、プーさんのデザインにしてみました。

が敷いてありました。教室内にはいすもありました。これは、正しい姿勢で座るためのいすです。体の小さな人から大きな人まで使えるように、いろいろな大きさのいすがあります。

## ■学校行事■

勝をしている、実力のあるチームです。

自立活動という授業があつて、その中には、体を動かす訓練もあります。訓練をする教室には、さまざまな工夫がされています。

天井にあるフックには大きな道具をつるします。壁には大きな鏡があり、立ったときの姿勢を手エックします。訓練中のけ

毎年秋には、きらめき祭という文化祭があります。きらめき祭当日は、みんなが実習でつくったパンや野菜、陶器や家具などが売られます。地域の人もたくさん訪れ、すぐに売り切れてしまふ品物もあるそうです。野菜は、普段でも玄関前で売っていることがありますが、やはりすぐに売り切れるそうです。この新聞を読んでいるみなさんもぜひ、きらめき祭に行ってみてください。

この学校では、部活動も盛んです。グラウンドではサッカーを、体育館ではバスケットボールをやっています。サッカーチームは、養護の大会で3回も優勝

自立活動という授業があつて、その中には、体を動かす訓練もあります。訓練をする教室には、さまざまな工夫がされています。



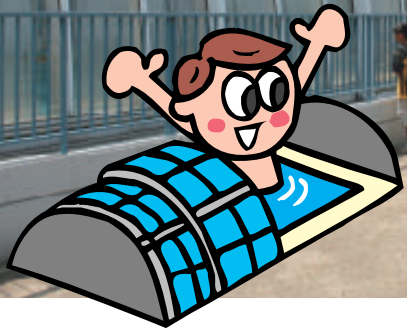
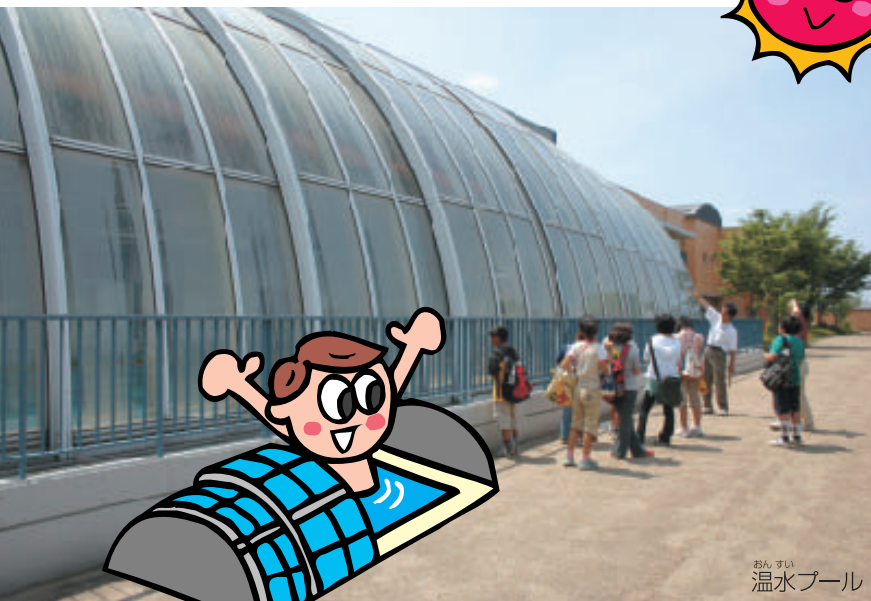
## ■みんなが楽しいプール・体育館■

この学校では、部活動も盛んです。グラウンドではサッカーを、体育館ではバスケットボールをやっています。サッカーチームは、養護の大会で3回も優勝

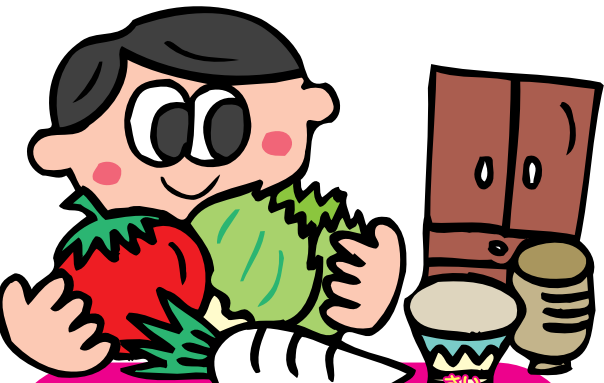
街には段差や長い階段など、不便なところがたくさんあります。そんな場所を減らしてみんなが笑顔で暮らせるような街であってほしい。養護学校取材して、そんなふうに思いました。



温水プール



体育館にあるバスケットゴールの高さは、上下に調節できます。そのため、誰でもバスケットボールを楽しむことができます。



## ★きらめき祭★

今年は次のとおり開催します。ぜひ来てください。  
●とき 11月26日(土)  
午前9時40分～午後1時40分  
●ところ 県立茅ヶ崎養護学校(西久保29-1)  
☎57-5379